

岩見沢市内における春の農作業進捗状況

JA いわみざわ・空知農業改良普及センターより情報提供

1 融雪期（積雪ゼロ）

平年	3月30日
本年	4月5日

融雪期は平年より6日遅い4月5日となりましたが、春作業は概ね順調に開始されました。

【定義】

「始め」：全体の5%程度の進捗
「期」：全体の40～50%の進捗
「終わり」：全体の90%程度の進捗

2 水稻の播種・移植作業

	播種期	播種終わり	移植始め
平年	4月21日	4月26日	5月17日
本年	4月22日	4月27日	5月18日

水稻の播種期は4月22日と平年より1日遅く、播種終わりも同様に1日遅くなりました。

苗の生育は順調に進み、既に市内全域で移植作業が進んでいます。

水稻直播については、5月20日時点で8割程度の乾田直播の播種が終え、5月14日から湛水直播の播種が始まりました。

3 玉ねぎの移植作業

	移植始め	移植期	移植終わり
平年	4月17日	4月22日	4月30日
本年	4月17日	4月28日	5月9日

玉ねぎの移植始めは平年並みの4月17日となりましたが、その後の降雨の影響により作業を行えない日が多くなり、移植期は平年より6日遅い4月28日で、移植終わりは平年より9日遅い5月9日となりました。

なお、移植適期が遅れた苗を定植している圃場が多いためタマネギバエの発生に注意が必要となっています。

4 秋播き小麦の生育状況

	草丈	茎数
平年	34.9cm	1,474本/㎡
本年	39.5cm	1,373本/㎡

秋播き小麦は、滞水の影響による雪腐病の発生が例年よりも多くなっています。

（令和7年5月7日現在、廃耕は12件で約36ha。）

草丈が平年を上回る39.5cm、1㎡あたりの茎数が平年より若干少ない1,373本と生育は順調となっています。